

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 29 日

事業所名

ILO

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8			学校への送迎時間帯が重なる ときは手薄になる事もあるが、 その際は声かけや連携を密にし ながら支援している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	8			部屋の壁色を変え、プレイルーム、静養室等を分けています。また、床にジョイントマットを敷き、安全 面に配慮しています。部屋との境は段差はありませんが、トイレやはバリアフリー化がなされていな いため、タイル面にマットを敷く等して工夫しています。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6	2			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8			ホームページにて公開 しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			8		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	8				外部研修は、研修内容や職員の経験等に合わせて平等に受 講する機会を設けています。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	8			スケジュールが固定化 しないよう、担当を振り 分けています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	8			ローテーションでリーダーが中 心となり立案を行っています	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8			長期休暇中は活動内容が固定 化しないよう、1週間の活動予 定表を活用しながら常勤職員に て立案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8			個別、集団の時間をつく るようになっています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	8			毎朝の職員朝礼を通し て行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	8			翌日の職員朝礼にて 行っていますが、急を要 する際にはその都度共 有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	5	3		翌日の職員朝礼にて 行っていますが、急を要 する際にはその都度共 有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	8				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	8					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	8			学校への送迎時に担任 との共有、また、保護者 を通して確認を行ってい ます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	8			保護者にて、医師から の指示書をもらっていま す。また、保護者を通じ て連携をとっています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	7		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している		8			現在該当児童はいませんが、今後該当児童の利用があれば 行っていきたいと思えます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2		6	会議の参加や、保護者 より発達検査結果報告 書等で確認、全職員で 共有をしています	中部療育センター(保育所等訪問支援)等や、保護者を通じて 訓練時の助言を確認しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			8		今期もコロナウィルスが収束していないため交流する機会が ほとんどありませんでしたが、次年度からは行ってきたいで す。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			8		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	8			送迎時に相談時間を設 けたり、連絡帳または メールを活用して伝え あっています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	4	2	保護者の要望に応じて その都度支援を行って います。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	8				契約時に説明を行い、運営規定、重要事項説明書等を事業 所の見えやすい箇所に設置しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	8			送迎時や、必要に応じ て行っています。	相談内容を職員間で共有し、共通助言、支援を行っていま す。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			8		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	8			出来る限り迅速に対応 できるように努めていま す。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	8			定期的な発行はない が、行事前に文書を発 行、または、連絡帳や メール等にてお知らせし ています。	
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	8			話せない児童に対し、手 話やカード等を活用して います。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			8	散歩や事業所行事(ハ ロウィン)にて近隣事業 所と交流を行いました。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				緊急時、防犯、感染症マニュアル等は策定し、事業所内の見えやすい箇所に設置しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			災害避難訓練は、年に2回実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		8			現在該当児童はいませんが、今後該当児童の利用があれば行っていきたいと思っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		8			現在該当児童はいませんが、今後該当児童の利用があれば行っていきたいと思っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8				